

品種改良・登録・普及のグランドデザインについて 第2報

理事長 清水 弘

品種改良・登録・普及のグランドデザインについては、昨年度の会報にて紹介しましたが、今回はこの構想の中の第2段階に当たる「試作圃場の設置と実生花評価」に関する役員の取り組みについてご紹介致します。

昨年の大船展示会に先立つ1週間前、役員10名が神奈川県内にある早咲き実生を中心とする拙宅の育種場に集合しました。まずは育種圃場にある選抜から漏れた実生花を対象に、その花の持つ欠点について考えて見ました。結果については、松下役員より「育種場を訪ねて（実生選抜の勉強会）」と題して紹介していただきます。次に同圃場で選抜され、鉢植えて維持管理されている命名品種の系統分類を試みました。こちらについては戸塚役員より「選抜実生に対する系統分類の試み」として紹介していただきます。そして最期に「試作圃場における実生新花の審査基準」について考えてみました。

1. 育種場を訪ねて（実生選抜の勉強会）

松下 卓生

2012年6月3日、今年もいよいよ花菖蒲の季節がやって来ると心躍り出す頃、神奈川県相模原市にある清水理事長宅を訪問し、育種場を拝見しながら花菖蒲の品種改良について御教授頂きました。

当日は蒸し暑くて曇り空が広がり、時折小雨が降るような天候でしたが、役員数名が集まり、花菖蒲について一日中話をすることができました。

最初に清水理事長の収集・改良された雪割草や桜草、東洋ランについて御教授頂いた後、毎年とても多くの組合せで交配されている花菖蒲について御説明を頂きました。氏によると、「花の良否を判断する際、平尾秀一著「花菖蒲」



（加島書店）に書かれていた実生花の選抜基準を参考とした。」ということなので、原点となっているその内容を一部抜粋させて以下にまとめてさせていただきました。

- ・同型同色の花はまず芯の良し悪しで判定する。熊本種は芯が太く、やや立ち気味のものを重んじ、芯が外弁の上にべったりと寝たり、花弁に対して不釣合に小さいものを下等とする。
- ・花弁と花弁の間がひどくすいているものや三英咲の耳弁が細く貧弱なもの、倒れたりよれたりしているもの、つまり一見して貧相なものは捨てる。
- ・草の出来を考慮に入れて価値を判定することが大切である。草の出来が相当によくても輪の小さいものは将来培養につとめても、巨大輪には咲かないとみてよい。
- ・早咲きものは、今のところ採点をあまくする必要はある。

さて勉強会の内容ですが、花菖蒲実生畑の中から事前に選ばれた10株の花を各自が見て、それぞれがどの系統（江戸系 肥後系 伊勢系 長井系 野生種 不明 実生層）に分類されると思うかをアンケート用紙に記入し、最後に集計した上で、それらの花のもつ欠点を考えて見

ました。氏の後日談では対象となった花は全て氏の選抜基準を満たさない実生屑ということでした。

詳しい結果については、以下の通りとなりました。

【No. 1】



・私は実生屑にしました。

小輪で花弁と花弁の間に隙間があり、雌蕊が水平に寝ている。一方、外花被が垂れているため、雌蕊と外花被の角度が調和しない。

・アンケート集計結果

江戸系	4人	伊勢系	1
不明	1人	実生屑	2人

【No. 2】



・私は長井系にしました。

野生種を大型化したような花形であり風情を感じる。

・アンケート集計結果

江戸系	3人	長井系	2人
野生種	1人	不明	1人
実生屑	1人		

【No. 3】



・私は実生屑にしました

花弁間に隙間があり、花弁の捩れが気に入らない。

・アンケート集計結果

肥後系	2人	長井系	1人
不明	3人	実生屑	2人

【No. 4】



・私は江戸系にしました

小輪で、不釣合いに雌蕊が短い。

・アンケート集計結果

江戸系	2人	肥後系	1人
不明	2人	実生屑	3人

【No. 5】



・私は肥後系にしました。

雌蕊が3本均等にそろっていないものの、大輪で雌蕊と花弁の大きさが調和している。

・アンケート集計結果

肥後系	7人	実生屑	1人
-----	----	-----	----

【No. 6】



- ・私は江戸系にしました
 花卉が大きく花径も広いが、雌蕊が小さく肥後系にはできませんでした。

- ・アンケート集計結果
 江戸系 3人 肥後系 5人

【No.7】



- ・私は江戸系にしました
 雌蕊が小さいが、受け咲で江戸系の雰囲気がある。

- ・アンケート集計結果
 江戸系 8人

【No.8】



- ・私は実生屑にしました
 花卉が狭く、花卉と花卉の間隙も広い。

- ・アンケート集計結果
 江戸系 1人 伊勢系 2人
 不明 1人 実生屑 4人

【No.9】



- ・私は肥後系にしました。
 花卉が幅広く花径も大きい。雌蕊はやや小さいものの程良く立っている。

- ・アンケート集計結果
 江戸系 3人 肥後系 3人
 不明 1人 実生屑 1人

【No.10】



- ・私は江戸系にしました。
 雌蕊は立ち上っているが、全体的に小型であっさりしている。

- ・アンケート集計結果
 江戸系 6人 肥後系 1人
 実生屑 1人

今回、幸いにしてこのような機会を頂き、花菖蒲の選抜を行う際に気を付けることや、花の良否を判断する基準というようなものなど大事なことを教わり、清水理事長始め関係各方には誠に感謝申し上げます次第です。

今までの私の認識以上に重要と思われたのは、花卉に対する芯（雌蕊）の形状・大きさに厳しい判断基準があるということであり、その判断基準から見たときに合格できる個体を選抜するのが非常に難しいことがわかりました。今後の品種改良を行う際に、これらの判断基準を少しでも生かして品種育成を行えればと思います。

2. 選抜実生花に対する系統分類の試み

戸塚由 美子

右の写真は清水理事長が既に実生選抜され、試作栽培されています命名済の鉢植えです。

この日咲いている花の中には、発表されてから久しく、広く普及栽培されているお馴染みの品種も多数ありました。余談ですが、我が家で毎年綺麗に咲き誇る、私の大好きな花も咲いており、感慨深い思いがいたしました。この数えきれない品種の中から、理事長がこの試みのため、10品種を選んでくださいました。実生畑の花と同様、この品種がどの系統に分類されるのか?? こちらは、理事長が既に〇〇系と目安をつけられているだけに、参加者の眼力が問われるところです。

対象になりました品種、またそのアンケート結果は、以下のとおりです。

【No.1】「袖の朝風（伊勢系）」



- ・私は江戸系としました。

花卉に縮緬が入り色合いも伊勢だが、銚、芯（蜘蛛手）がもう一つ。。。

- ・アンケート集計結果

江戸系 2人 伊勢系 5人
不明 1人

- ・清水理事長のコメント

伊勢系としては銚の発達が悪く蜘蛛手もないが、全体として伊勢系の繊細さがある。



【No.2】「初桜（伊勢系）」



- ・私は伊勢系としました。

蜘蛛手があり縮緬地、垂れ咲き。

- ・アンケート集計結果

肥後系 1人 伊勢系 5人
長井系 1人

- ・清水理事長のコメント

縮緬地の垂れ咲き、銚は巾広で程良く立つ。

【No.3】「夕時雨（江戸系）」



- ・私は江戸系としました。

垂れ咲きで色合いも伊勢系だが、弁の隙間が大きく銚の元（柄）が細い。

- ・アンケート集計結果

江戸系 3人 肥後系 1人
伊勢系 2人 不明 2人

・清水理事長のコメント

無理があるが、一応江戸系とした。花弁や
銚が細長いので肥後、伊勢とは言えない。で
もこのほんのりとした色は伊勢かなあ。

【No.4】「海棠時雨（肥後系）」



- ・私は肥後系としました。
伊勢では華やか過ぎ。芯が三方に立つ。
- ・アンケート集計結果
江戸系 人 肥後系 3人
伊勢系 3人 不明 2人
- ・清水理事長のコメント
芯が立派に立つ。欲を言えば、雌蕊に対し
て弁がもう少し大きければ・・・。

【No.5】「先紫（肥後系）」



- ・私は江戸系としました。
芯は立派。もう少し重厚さがあれば・・・。
- ・アンケート集計結果
江戸系 3人 肥後系 5人
- ・清水理事長のコメント
雌蕊が発達している。威圧感（豪華）があ

り、若い人には人気ないんだよね。

【No.6】「清涼寺（江戸系）」



- ・私は江戸系としました。
さわやかな色。芯が整えば肥後。
- ・アンケート集計結果
江戸系 6人 肥後系 1人
伊勢系 1人
- ・清水理事長のコメント
江戸系には、芯の形の決まりがない。この
観点から外国系も江戸系に含まれる。

【No.7】「江戸誉（肥後系）」



- ・私は肥後系としました。
花の大きさ、弁の雄大さ。
- ・アンケート集計結果
江戸系 3人 肥後系 4人
伊勢系 1人
- ・清水理事長のコメント
この花は開花初日。明日になるともっと広
がる。肥後にしては、耳弁（銚。肥後では耳
弁）が立ち過ぎ。でも、芯は、しっかりして
いる。
*参加者、皆から「でも、花名が、江戸誉
ですよ～（笑）」

【No. 8】「齋宮行列（肥後系）」



- ・私は肥後系としました。
芯、しっかり、弁も大きく波打つ。
- ・アンケート集計結果
江戸系 1人 肥後系 4人
伊勢系 3人
- ・清水理事長のコメント
多肥すると極端な樋弁となるのが悪い癖。
耳弁の発達が未熟だが丸弁である。

【No. 9】「終着駅（江戸系）」



- ・私は肥後系としました。
平咲きに近いが、大きな波状弁。芯も大きい。
- ・アンケート集計結果
江戸系 3人 肥後系 5人
- ・清水理事長のコメント
石橋に似ているが、やや小ぶりの浅咲。芯が濃い色の方が、重厚感が出る。

【No. 10】「冬将軍（肥後系）」



- ・私は肥後系としました。
芯が大きく、すっと立つ。弁も豊か。
- ・アンケート集計結果
江戸系 1人 肥後系 6人
伊勢系 1人
- ・清水理事長のコメント
芯が45度に立つが、中輪なのが惜しい。
もっと大輪になると、この芯の長さでは物足りない。

以上が、役員による系統分類の調査報告となります。

この日、集まった役員一同、清水先生にテストをされる生徒のように、わいわいと花菖蒲談義に花を咲かせながらも、真剣に考え学んだいい機会になりました。改めて、花菖蒲の伝統園芸植物としての歴史を受け止め、さらに、未来に向けての我々の役割を心に刻みました。

3. 試作圃場における実生新花の審査基準（案）について

清水 弘

昨年の会報で紹介したグランドデザインの中で『第2段階の試作圃場の設置と実生花評価については、会員数減少の現状では実施困難』となっていました。しかしながら将来的な必要性から、準備の一環として審査基準（案）を作成致しましたので、ここにご紹介いたします。

試作圃場における実生新花の審査基準（案）

【目的】 新しいゴールに向かう花菖蒲育種家の作出品種を評価する。

将来への発達を阻害しない程度にルール作りする。

【方法】 既存品種についての十分な知識と洞察力のある審査員により、品種登録申請のあった実生花について得点評価を行う。評価結果は現時点での品種の優劣を示すものであって、登録の可否を問うものではない。尚、現在の花菖蒲品種登録基準では、優劣は問わず次の二条件を満足することとしている。

① 品種名が重複しないこと

② 初花から3年以上経過し複数個所で栽培され、合計が20株以上あること

【評価基準】

A：草性 **30点**

1. 強健性：15点満点

a. 株の増殖 10点

年5倍以上（10点）、年3-4倍（5点）、年1-2倍（0点）

b. 広域適応性・病斑 5点

乾湿に強い・病斑なし（5点）、過湿過乾に弱い・病斑あり（0点）

2. 花 茎：15点満点

a. 花蕾の位置 5点

葉上にバランス良く着く（5点）、バランス不良（0点）

b. 側枝の出方 5点

主枝との調和良し（5点）、不調和（-5点）、側枝なし（0点）

c. 倒伏性 5点

花茎や花首が風雨に耐える（5点）、風雨に弱い（0点）

B：花 **35点**

1. 花 型：20点満点

各花器の形や全体バランスが優良（20点）、良（10点）、不良（0点）

2. 色彩・配色・肌理：10点満点

鮮明で花型と調和（10点）、花型と調和（5点）、不鮮明（0点）

3. 花寿命：5点満点

暑熱・風雨等に対し3日以上保つ（5点）、2日（0点）1日以下（-5点）

C：新規性 **35点**

1. 新形質：30点満点 花色・配色・花型・各種抵抗性等において

複数の新形質を持つ（30点）新形質一つ持つ（20点）、

従来形質の強化（10点）、従来通り（0点）

2. 花期の拡大：5点満点

拡大する（5点）、従来通り（0点）

D：庭園での有用性 **5点**

単独での群生美や他植物との混植で有用性を示す（5点）、示さない（0点）

例：斑入り葉種、小型長期開花性種

E：系統別分類 **0点**

1. 得点とは関係なく、江戸・肥後・伊勢・長井・外国系、種内交配・種間交配種に区分する。

2. 同一育種家による系統育種が進展し、共通特性が顕れている品種群については〇〇型と呼称する。 ※本会報に収録した『2013年花菖蒲の園芸改良品種の分類』参照のこと。